

平成26年度 事業報告書

自 平成26年1月1日
至 平成26年12月31日

I	国際交流に関する事項	1頁～4頁
II	登録に関する事項	4頁～10頁
III	引退競走馬に関する事項	10頁～11頁
IV	総務に関する事項	11頁～15頁



公益財団法人 **ジャパン・スタッドブック・インターナショナル**
Japan Association for International Racing and Stud Book

平成26年度 事業報告書

本財団は将来にわたり安定した事業運営基盤を構築することを念頭に、引き続き経費の削減、業務の効率化を進め、広く一般市民の視点に立った事業運営を推進しました。

なお、10月24日、情報システムの開発委託先による個人情報の紛失事案が発生し、事実関係の調査、原因の究明及び再発防止のための必要な措置を講じました。

I 国際交流に関する事項(公益目的事業1)

国際相互理解の促進に寄与するため、国内外の競馬に関する情報の収集・提供や競馬の技術等に関する海外との交流事業に取り組みました。

1 競馬に関する情報の収集及び提供事業

(1) 海外競馬関連情報の収集及び国内への提供

海外の競馬及び生産等に関する定期刊行物、書籍等から最新の話題やニュースを収集・翻訳・編集してホームページ等で広く一般に提供しました。

- ・海外競馬ニュース（毎週・ホームページ）
- ・海外競馬情報（毎月・ホームページに加え印刷物も配布）

(2) 我が国の競馬関連情報の海外への提供

(ア) 海外の競馬関係者ほか一般市民向けに、我が国の競馬及び軽種馬生産等に関する情報のほか、関係法令、競馬場、開催日程等の情報を外国語

版（英、仏、中、韓）ホームページ（「Japan Racing Journal」、「Horse Racing in Japan」等を含む。）で広く一般に提供しました。

また、海外からのeメール・電話等での各種問合せに迅速に対応し情報提供を行いました。

(イ) 中央競馬のG1レース当日、G1レースのほか前後のレースを含めたレースのライブ映像をイギリス、フランス、オーストラリア、ニュージーランド、香港、マレーシア、シンガポール及びドバイに提供しました。併せて、アメリカ、カナダ向けに、G1レース当日の全12レースの映像提供を実施し、総計262レースのライブ映像を提供しました。

また、これらのレースに関する情報を外国語版ホームページに掲載し、広く一般に提供しました。

2 競馬の技術等に関する海外との交流事業

(1) 技術研修

(ア) 定期研修

6月3日から6月14日までの12日間にわたり、アジア競馬連盟(ARF)加盟国の競馬統括機関及び関係機関が公募し推薦する競馬開催執務員を対象に、我が国の競馬施行及び軽種馬生産全般に関する定期研修を実施しました。講師には我が国の競馬運営及び競馬開催に従事する専門家が当たりました。

・参加者：オーストラリア、ニュージーランド、マレーシア、シンガポール、韓国、フィリピン、トルコから各1名の計7名

(イ) 専門研修

9月2日から9月8日までの7日間にわたり、アジア競馬連盟加盟国、アジア地域の競馬発展途上国の競馬関係者等を対象に、裁決/ハンデ及

び血統管理に関するより高度な専門知識及び技術の向上を図るための専門研修を実施しました。講師には、我が国の競馬、血統書に携わるそれぞれの専門家が当たりました。

<参加者>

- ・ 裁決/ハンデ研修：オーストラリア2名、マレーシア、カタールから各1名の計4名
- ・ 血統管理研修：モンゴルから1名

(2) 国際交流行事等

(ア) 人馬の海外遠征を積極的に推進するため、海外遠征馬の出馬登録の窓口となり現地主催者との連絡及び調整を行い、遠征に係る事務手続き等について必要な支援を行いました。

3月のドバイワールドカップ及び12月の香港国際競走に際しては、本財団職員を現地に派遣し、現地主催者と日本からの遠征馬関係者との連絡調整にあたりました。

(イ) 我が国の国際レース取材のため来日する報道関係者に対し、資料・情報の提供、取材援助、滞在・移動等の包括的な支援を行いました。

(ウ) 5月4日から5日間、香港で開催された第35回アジア競馬会議では、日本代表団事務局として参加団体のサポートを行うとともに、「中国に於ける血統登録」と「アジア競馬連盟に対する研修プログラム」について講演を行いました。

(3) 中国に関する事業

我が国の競馬に関する知識、技術を活かし、中国における人材育成、交流を図るための事業を下記のとおり実施しました。

- ・ 4月6日から4日間、我が国において、中国馬業協会サラブレッド登記管理委員会担当者に対するマイクロチップ関連研修

- ・ 6月26日、中国牧工商集団及び北京市馬術協会との共催による装蹄技術現地研修
- ・ 8月27日から5日間、我が国において、済南競馬場及び中国馬業協会競馬工作委員会関係者に対する競馬管理研修
- ・ 10月15日から7日間、日本の競馬関連産業への理解を醸成するため北京市馬術協会副主席を招聘
- ・ 11月11日から6日間、我が国において、中国の馬産業に従事する獣医師（5名）に対する獣医技術研修

Ⅱ 登録に関する事項(公益目的事業2)

国内外における軽種馬の改良増殖や公正な流通を促進するとともに、競馬に対する国民の信頼の確保並びに国際相互理解の促進に寄与するため、軽種馬の厳正かつ公正な登録及び登録情報の国内外への提供等の事業に取り組みました。

1 軽種馬の登録事業

(1) 血統及び繁殖登録

(ア) 血統及び繁殖登録

登録規程、登録規程実施基準等に基づき登録業務を厳正に実施しました。血統登録の申込みは、内国産サラ系統（当歳）が前年より85頭増加し、輸入馬も24頭増加しました。

繁殖登録の申込みは、血統登録済みのサラ系統の雌が前年より44頭増加し、輸入馬の雌が10頭減少しました。

血統登録

区 分	品 種		平成 26 年度 申込頭数	平成 25 年度 申込頭数	増減
内国産馬	サラ系統	当歳	6, 508	6, 423	85
		1歳	245	259	△14
		計	6, 753	6, 682	71
	アラ系統	当歳	16	6	10
		1歳	0	0	0
		計	16	6	10
輸入馬			130	106	24

繁殖登録

区 分	品 種	性	平成 26 年度 申込み頭数	平成 25 年度 申込み頭数	増減
血統登録 済みの馬	サラ系統	雄	27	20	7
		雌	1, 019	975	44
		計	1, 046	995	51
	アラ系統	雄	1	1	0
		雌	0	4	△4
		計	1	5	△4
輸入馬	雄		4	3	1
	雌		100	110	△10
	計		104	113	△9

(イ) DNA型検査

DNA型検査を(公財)競走馬理化学研究所に委託し、親子判定及び輸入馬、繁殖登録馬(雄)等を対象とした個体識別を実施しました。併せて、芦毛の遺伝子型検査についても実施しました。

区 分		平成 26 年度頭数	平成 25 年度頭数
親子判定	サラ系統	6, 7 7 1	6, 6 9 9
	アラ系統	1 6	6
個体識別	サラ系統	4 1 7	4 5 0
	アラ系統	1	1

(注記) 個体識別は血統登録申込馬(輸入)、繁殖登録申込馬(雄及び輸入雌)等。

(2) 馬名登録

馬名登録実施基準に基づき実施した馬名登録は6,615件で、2歳での申込みが減少したことなどにより前年より449件減少しました。

区 分	審査・登録件数	
	平成 26 年度	平成 25 年度
新規登録	6, 3 0 0	6, 7 6 0
馬名変更	1 7 5	1 8 2
外国競走馬	8	8
繁殖登録馬	1 3 2	1 1 4
計	6, 6 1 5	7, 0 6 4

2 血統登録等の情報の提供事業

(1) 軽種馬の登録情報等の提供

血統情報、馬名情報等各種の情報について、ホームページ等で一般に公開したほか、競馬主催者団体をはじめ軽種馬生産者団体、マスコミなどに提供し、これらの機関等の最終制作物(ホームページ、印刷物等)を通じて国内外に広く公開しました。

(2) 血統書の発行

登録した軽種馬を国際基準に基づき和文血統書(サラブレッド、その他

の品種)、欧文血統書(サラブレッド、アラブ)に随時登載し、ホームページで国内外に広く公開しました。

(3) 軽種馬統計等の発行・公開

ライフステージ別の統計データ、輸出入馬などのデータを取りまとめ、「軽種馬統計」を発行したほか、統計データをホームページや軽種馬生産者団体の印刷物(JBBA ニュース)を通じて公開し広く一般に提供しました。

(4) 個人情報提供

血統登録した馬については、「馬の健康手帳」に貼付される個体確認書を発行し個人情報を提供しました。

3 海外の血統書統括機関との連携事業

(1) 国際血統書委員会(ISBC)への参画

9月29日、英国ニューマーケットで国際血統書委員会年次会議が開催され、職員2名がアジア地域代表メンバーとして出席し、国際間の血統書承認に関する案件等について協議しました。

(2) アジア血統書会議(ASBC)の主宰

5月5日、香港において、ISBCのアジア地域代表としてインド血統書統括機関とともに第12回アジア血統書会議を主宰しました。19の国と地域から36名が参加し、2012年及び2013年の国際血統書委員会年次会議報告、地域報告等を行いました。

(3) 軽種馬の輸出入に関する事務

(ア) 輸出証明書等の交付等

軽種馬の輸出入に当たり、相手国の血統書統括機関との間で、国際基準に基づいて、当該馬に係る輸出証明書及び馬の個体識別手帳(パスポート)の交付・受領等の事務を行いました。

(イ) 馬名の承認に関する事務

国際基準に基づいて出生国の承認が必要になっている馬名の登録及び変更の照会を相互に行い、審査し承認しました。

4 登録事業に関するシステム関係

(1) システムの改善と適切な管理運用

血統登録、繁殖登録、馬名登録及び関係団体との情報交換等の各種業務を効率的、効果的に推進するため、必要なシステムの開発と改善及び適切な管理運用を行いました。

(ア) システムの開発

登録審査業務の効率的・効果的な推進を図るため、平成26年から4年計画で登録業務にタブレット端末を利用するための登録システムを開発することとし、平成26年度に開発したプロトタイプ（試作品）を用いて登録審査の実証試験（6月に新冠地区、9月に静内地区）を行い、登録業務で利用可能という結論を得ました。

なお、本件に関連して、10月24日に開発委託者による個人情報の紛失事案が発生し、事後措置を講じました。

(イ) システムの改善

電子馬名登録申込システムの利便性向上を図るため、オフィスコンピュータに取り込むことができない文字（①、(株)、Ⅲ等）が入力された時に警告を表示する等の機能の改善を行いました。

また、種付情報管理システムについては、種付台帳に種付頭数や種付期間等の印刷機能を追加するとともに、種付けした雌馬の検索方法の改善等を行いました。

これらのほか、血統登録した馬の個体情報を提供する個体確認書に特

徴図を印刷する機能の追加、芦毛遺伝子診断依頼書の印刷機能の追加や馬名登録システムの馬名申込受付画面に父母の欧文馬名を表示する等の改善を行いました。

(ウ) 適切な管理運用

競馬主催者や生産者団体等との間で恒常的に行う登録情報や競馬情報の安定的なデータ送受信を図るため、システムの管理運用を適切に実施しました。

(2) 血統書データベースのサービスの改善

種付けした種雄馬の情報を提供する種雄馬情報（スタリオンブック）について、検索年次に種付けした種雄馬の一覧表を表示する機能を追加し、利便性の向上を図りました。

5 その他

(1) マイクロチップの普及定着

軽種馬へのマイクロチップの埋め込みを普及定着させるため、生産牧場等がマイクロチップの埋め込みに要した費用の一部を補助しました。

(2) 血統登録の審査技術水準の向上を目的とした研修会等への講師派遣等

関係団体等が行う技術研修会等に本財団職員を講師として派遣しました。また、本財団においても、審査技能の定着向上等を目的とした研修会等を開催しました。

(ア) 日本中央競馬会の委嘱登録審査委員に対する研修会

(日本中央競馬会 3月11～12日、3月18～19日)

(イ) 地方競馬全国協会の委嘱登録審査委員に対する研修会

(地方競馬全国協会 3月12日、3月26日)

(ウ) 日本中央競馬会職員一般研修

(日本中央競馬会 3月11日、3月18日)

(エ) 全国装蹄競技大会審査委員

(日本装削蹄協会 10月19～21日)

(オ) 本財団登録審査委員に対する採徴基準研修会

(6月11日、7月1日)

Ⅲ 引退競走馬に関する事業(公益目的事業3)

一般市民に引退競走馬と触れあう機会を提供し、馬の魅力を伝えるとともに、豊かな人間性の涵養さらには競馬に対する国民の信頼の確保に寄与するため、引退競走馬の繫養展示活動への助成及び情報提供等の事業に取り組みました。

1 引退競走馬の繫養展示活動への助成

(1) 繫養展示活動への助成

競走、繁殖、乗馬などの経済活動を終えた高齢の引退競走馬のうち、競走馬として活躍し、競馬の発展に貢献した名馬を繫養展示する所有者に対し対象馬の飼養費等に係る経費の一部を助成しました。

助成対象馬の頭数は、年度当初213頭で、年度途中で死亡等により30頭減少した結果、年度末には183頭になりました。

また、平成27年度から本事業の充実を図ることとし、助成対象馬の年齢の引き下げ(14歳以上から10歳以上に)、新規の助成対象馬の交付決定の年二回実施(前後期に)、20歳、25歳、30歳の助成対象馬に特別助成金を交付することとしました。

区分		年度当初の助成対象頭数	
		平成 26 年度	平成 25 年度
中央競馬重賞競走勝馬	新規申請	15	16
	継続申請	183	193
	計	198	209
地方競馬ダートグレード競走勝馬	新規申請	1	0
	継続申請	14	19
	計	15	19
計		213	228

(2) 馬名プレートの提供

繋養展示する施設を訪れた一般市民に対して、助成を行う高齢の引退名馬の情報を分かりやすく伝えるため、馬名や血統、毛色、競走成績等を表示するプレート（2枚）を繋養展示する施設に提供しました。

2 引退競走馬の情報提供事業

引退競走馬の近況や繋養展示する場所をホームページやパンフレットで広く一般に提供しました。

IV 総務に関する事項

1 評議員会等の開催状況

(1) 評議員会

回	開催年月日	議決事項	当日の 議員数	当日の 出席数	議決の 結果
1	決議の省略 (H26. 1. 30)	①公益財団法人ジャパン・スタッドブック・インターナショナル登録規程の一部改正（案）承認の件	9	9	全員賛成

2	H26.3.13	①平成 25 年度事業報告（案）承認の件	9	8	全員賛成
		②平成 25 年度収支決算（案）承認の件	9	8	全員賛成
		③理事及び監事選任（案）承認の件	9	8	全員賛成
		④退任理事に対する役員慰労金の支給（案）承認の件	9	8	全員賛成
3	決議の省略 (H26.6.2)	①平成 26 年度収支補正予算（案）承認の件	9	9	全員賛成
4	決議の省略 (H26.10.20)	①理事及び監事選任（案）承認の件	9	9	全員賛成
5	H26.12.18	①評議員の選任（案）承認の件	8	6	全員賛成
		②平成 27 年度事業計画（案）承認の件	9	7	全員賛成
		③平成 27 年度収支予算（案）承認の件 (報告事項)	9	7	全員賛成
		①個人情報の紛失について			

(2) 理事会

回	開催年月日	議決事項	当日の 理事数	当日の 出席数	議決の 結果
1	決議の省略 (H26.1.17)	①公益財団法人ジャパン・スタッドブック・インターナショナル登録規程の一部改正（案）承認の件	6	6	全員賛成
2	H26.2.27	①平成 25 年度事業報告（案）承認の件	6	6	全員賛成
		②平成 25 年度収支決算（案）承認の件	6	6	全員賛成
		③理事及び監事選任（案）承認の件	6	6	全員賛成
		④退任理事に対する役員慰労金の支給（案）承認の件	6	6	全員賛成
		⑤第 2 回評議員会の開催（案）承認の件 (報告事項)	6	6	全員賛成
①理事長及び常務理事の職務の執行状況について					
3	H26.3.13	①理事長及び常務理事の選定（案）承認の件	5	5	全員賛成
4	決議の省略 (H26.5.21)	①公益財団法人ジャパン・スタッドブック・インターナショナル特定費用準備資金等取扱規程の制定（案）承認の件	5	5	全員賛成
		②登録事業情報処理用機器等資産取得資金の設定（案）承認の件	5	5	全員賛成
		③登録事業情報処理用オープンシステム資産取得資金の設定（案）承認の件	5	5	全員賛成
		④北海道事務所建物取得資金の設定（案）承認の件	5	5	全員賛成

		件 ⑤公益財団法人ジャパン・スタッドブック・インターナショナル会計規程の一部改正（案）承認の件 ⑥平成 26 年度収支補正予算（案）承認の件 ⑦第 3 回評議員会の開催（案）承認の件	5 5 5	5 5 5	全員賛成 全員賛成 全員賛成
5	H26.10.8	①理事及び監事選任（案）承認の件 ②公益財団法人ジャパン・スタッドブック・インターナショナル職員就業規則の一部改正（案）承認の件 ③第 4 回評議員会の開催（案）承認の件	4 4 4	4 4 4	全員賛成 全員賛成 全員賛成
6	決議の省略 (H26.12.2)	①第 5 回評議員会の開催（案）承認の件	5	5	全員賛成
7	H26.12.18	①平成 27 年度事業計画（案）承認の件 ②平成 27 年度収支予算（案）承認の件 ③公益財団法人ジャパン・スタッドブック・インターナショナル職員給与規程の一部改正（案）承認の件 ④公益財団法人ジャパン・スタッドブック・インターナショナル登録規程実施基準の一部改正（案）承認の件 ⑤評議員の選任（案）承認の件 (報告事項) ①個人情報の紛失について ②理事長及び常務理事の職務の執行状況について	5 5 5 5 5	5 5 5 5 5	全員賛成 全員賛成 全員賛成 全員賛成 全員賛成

2 評議員に関する事項

評議員 (9名)

氏名	就任年月日	退任年月日	備考
井出道雄	H24. 3. 14		日本中央競馬会 副理事長
岩崎幸治	H26. 12. 18		地方競馬全国協会 理事
岡本金彌	H24. 1. 4		
鈴木淑子	H24. 1. 4		
瀧島利雄	H24. 11. 27	H26. 10. 31	地方競馬全国協会 理事
西村啓二	H24. 1. 4		(公社)日本軽種馬協会 副会長
古屋 明	H24. 1. 4		
本村凌二	H24. 1. 4		

森 保彦	H25. 12. 10		日本馬主協会連合会 会長
山本雅男	H24. 1. 4		

3 理事・監事に関する事項

役員（理事5名：監事2名）

職名	氏名	勤務	就任年月日	退任年月日	備考
理事長	滝澤 勇	常勤	H23. 3. 26		
常務理事	山田隆雄	常勤	H23. 3. 24	H26. 3. 13	
〃	杉本 透	常勤	H26. 3. 13		
理事	石田生男	常勤	H22. 12. 1		
〃	酒井俊夫	非常勤	H23. 3. 19	H26. 8. 10	地方競馬全国協会理事
〃	塩田 忠	常勤	H22. 12. 1		
〃	松本有幸	常勤	H22. 12. 1	H26. 3. 13	
〃	宮本恭一	非常勤	H26. 10. 20		地方競馬全国協会理事
監事	大城清也	非常勤	H22. 12. 1		公認会計士
〃	小島 薫	非常勤	H24. 3. 14	H26. 9. 15	日本中央競馬会理事
〃	木所康夫	非常勤	H26. 10. 20		日本中央競馬会理事

4 職員等に関する事項

組織	参与数	職員数	嘱託数	計	備考
総務部		5		5	
経営企画部	1	2		3	
国際業務部	1	6	1	8	
登録部		10		10	
情報システム部		2	1	3	
北海道事務所		4		4	
計	2	29	2	33	

5 許可、認可及び承認に関する事項

登録規程の変更

平成 26 年 2 月 25 日

農林水産大臣

6 登記に関する事項

- | | | |
|---------------------|-------------------|-----------|
| (1) 理事及び監事の変更登記 | 平成 26 年 3 月 26 日 | 東京法務局港出張所 |
| (2) 理事の変更登記 | 平成 26 年 8 月 13 日 | 東京法務局港出張所 |
| (3) 監事の変更登記 | 平成 26 年 9 月 19 日 | 東京法務局港出張所 |
| (4) 理事・監事及び評議員の変更登記 | 平成 26 年 10 月 31 日 | 東京法務局港出張所 |
| (5) 評議員の変更登記 | 平成 26 年 12 月 26 日 | 東京法務局港出張所 |

7 助成金及び寄附金に関する事項

(1) 助成金

日本中央競馬会	316,423,550 円
日本中央競馬会（特別振興助成金）	128,924,305 円
地方競馬全国協会	71,522,918 円
（一財）日本中央競馬会弘済会	21,980,000 円
（一社）日本競走馬協会	1,000,000 円

(2) 寄附金

(公財)競走馬理化学研究所、(一財)グリーンチャンネル	
日本馬主協会連合会、(一社)東京馬主協会、(一社)新潟馬主協会	
(一社)京都馬主協会、(一社)日本調教師会、(公社)日本軽種馬協会	
千葉県両総馬匹農業協同組合、太宰啓介、JRA ファシリティーズ(株)	
日本スターティング・システム(株)、JRA システムサービス(株)	
(株)中央競馬ピーアール・センター 他	4,100,000 円

事業報告の内容を補足する重要な事項はないので、附属明細書は作成しません。